

6月3日(水) 進路選択

「愛川、将来どんな仕事に就きたい」高校2年の時、新聞配達所の息子が私に尋ねてきた。

「俺、小学校の先生になりたいねん。テレビドラマの影響やけどな」そう言って笑うと、

「おまえはええなあ。夢があつて。俺、このままやと新聞配達所を継ぐことになる。そんなにいいのかなあ。不安なんや」

私はその話を聞いて、いろいろなことにチャレンジして失敗しても、就職先が保証されているということなのに、贅沢なことを言うなあ。と思っていた。けれども、彼にはその「いろいろなこと」が、父親の「家業を継いでもらいたい」という強い思いのために、許されなかったのだ。

結果私は受験に失敗し、小学校の先生になることができなかった。一浪してなんとか大学には滑り込んだが、卒業後も順風満帆とはいかず、丸2年かかって、なんとか高校の教員採用試験に引っかかることができた。補欠の繰り上げ採用だった。

やりたいことが進路に結びつくというのは本当に幸せなことだ。おそらく多くの人が挫折しながら今を生きている。けれども大切なのは、今の仕事に誇りを持つこと。そしてやりがいを感じることだ。新聞配達所の息子が、その後どんな仕事に就いたのかは知らない。でも、どんな仕事に就こうが、きっと誇りを感じていると思う。自分にしかできない仕事は必ずある。自分が支えになっている仕事は必ずある。

人生経験が少ない生徒たちが進路選択に迷うのは当たり前。そのときどんな「体験談」を話してやれるか。どれだけたくさんの方の標を示してやれるか。それも教師の大切な仕事だと思う。

